

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月17日

事業所名 ふるさとの森ひろば2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	・パーティション利用などで個別の空間を作るなどしている。	・内容によっては小グループに分かれて室内とグランドに分かれての活動などを計画していきたい。
	2	職員の配置数は適切である		3	・送迎や利用児支援を事業所職員のみで行えないことがあるため ・個別対応が必要な利用児が増えると不安を感じる。	・細かな支援ができるように職員の確保に努めていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	・車いすを利用される方が利用されるとなるとすぐには受け入れが困難なため ・現在は必要ないが今後は怪我等による車いすの対応などの準備はすべきであると感じている。	・車いす利用の利用児を受け入れる際は、車いすが通れるスペースを確保するようにしていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		・児発管が中心になって利用児一人一人の課題や今後の目標などを話し合っている	・振り返りをもとにしたそれぞれの利用児に応じた有効な支援方法を見つけていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		・評価に課題がある項目については具体的な対策を検討していきたい。	・保護者間の連携や地域との交流の項目について具体的にどうしていくべきかを検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		・集計結果を毎年2月に公開している。	・毎年公表を続けていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			・様々な角度からの意見を大切にしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1	・法人内の研修の機会が増えている。 ・ズームによるオンライン研修に参加する機会が多くなった。	・サブスク型のオンライン研修の導入について検討している。研修の機会を増やしていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		・外部から来られる訪問支援のサポートを参考にすることもある。	・保護者のニーズをしっかりと取り入れて計画の作成に努めていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			・言語聴覚士の訪問の際に検査方法について学ぶ機会を作っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		・活動担当者が話し合い、毎月の計画を立てるようにしている。	・1カ月の中で運動や制作などの活動にバランスよく参加できるような計画を立てていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		・毎月新しい活動を取り入れるようにしている。	・同じ活動の中でも回数を重ねる中で少しずつ何度を上げることでいろいろなことを経験していくようにしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		・両期間ともにタイムスケジュールを決めて計画的に活動することを心掛けている。	・タイムスケジュールの見直しを定期的に行い、よりよい過ごし方を追求していきたい。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		・発達年齢やその日の体調等に応じてその都度グループ編成を行うようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	・活動前に必ずミーティングが行われ、その中でその日の支援の在り方や職員の動きの確認をしている。	・全体の動きだけでなく、利用児個人の動きや支援の在り方など、細かいところまで確認して行くようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	・当日は送り後の短時間で重要事項等について行い、翌日のミーティングでじっくりできている。	・毎日、同じ時間帯にその日の気づきを報告する時間を設定している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	・記録を取るようにしている。今後は記録を支援に有効につなげていける取り組みを検討していきたい。	・よりよい支援につながる記録の取り方や記録の生かし方はどうすればいいのかを引き続き追求していきたい。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		・定期的に利用児の変化について振り返るようにしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	・月単位で各週ごとや各曜日ごとにバランスを考えながら計画を立てるようにしている。	・バランスよく様々なことを経験していけるようにしていきたい。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	3	・必ず責任者が参加するようにしている。	・会議参加前に職員全員で話す内容について検討し、事業所の意見としてお伝えするようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	1	・下校時間のFAXやメール、ラインをいただいております。スムーズな迎えができています。	・学校との情報共有をしっかりと行える関係を作っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	・該当する利用児が在籍していない。	・受け入れ可能になるように準備を進めていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	・児童発達支援事業所と特に情報共有の機会を作るようにしている。	・新1年生の利用児が利用を始める前に関係機関に連絡を取るようになっていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	・まだ該当する利用児が在籍していない。	・他事業所の情報を集めておきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		・児童発達支援事業所などが企画する研修に参加している。	・研修へ定期的に参加する体制作りを努めていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	・地域の少年団の交流を検討しているがコロナ感染対策を考慮し、まだ実施できていない。	・コロナの状況を見ながら実施時期を検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		・参加している。	・協議会で得た情報を事業所運営に役立てるようにしていきたい。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		・送りの際に報告し合う時間があり大切にしている。	・必要に応じて電話やSNSを使った連絡も行っていきたい。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	・必要な場合に実施できるように準備を進めていきたい。	・研修を積み、実施できるように準備を進めていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			・契約の際に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		・相談されたことについては何らかの情報提供をすることを心掛けている。	・事業所職員の知識だけでなく、法人全体の職員(嘱託医など)からの助言も行えるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	・来年度は保護者会を企画したい。	・まずは保護者懇談会など、気楽に参加できる行事を企画したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		・要望に対しては次の利用日までに対応策を考え、提供できるようにしていきたい。	・利用児やご家族の皆様安心してご利用いただける事業所作りに努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		・利用予定表、法人行事の案内などを定期的にお配りするようにしている。	・活動の様子がより伝わるプリントを作っていくようにしたい。
	35	個人情報に十分注意している	3		・個人名が流失しないように気を付けている。	・定期的に個人情報の取り扱いについて確認を行うようにしていきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		・視覚的な支援(イラストの掲示等)を意識するようにしている。	・「利用児の気持ちを受け入れる」ということを何よりも優先して支援にあたるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	・コロナの影響がありしばらくできていないが今後はまた行いたい。	・法人行事を中心にしながら地域の皆様へ情報発信を行っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		・職員間では周知しているが保護者に対して周知できていない。	・契約の際にマニュアルの説明を行いようにしたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		・活動の中で年間5回の避難訓練を実施している。	・プリント等利用して訓練を実施している様子を保護者に具体的にお伝えできるようにしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			・定期的に入権擁護について考える時間を設定したり、報道の記事を見て原因について考える機会を作りたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		・万が一、利用児自身や他の利用児に危険が及ぶ可能性があるときのみ身体拘束を行う可能性がある。	・契約の際にしっかりと確認を行うようにしていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		・利用を始める際にアレルギーについて保護者に確認を行っている。	アレルギーについての確認書類を提出していただき、気を付けるようにしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		・毎月ヒヤリハットの報告を行い、事故防止に努めている。	・事故につながらないようにすぐに対応できるようにしていきたい。